

## 第28回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第28回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

### 結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(14)となった。
- ・前回9月調査値(-15)と比べると(+29)となり、持ち直している。

### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成28年12月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査	
		A 現況 (H28. 9)	見通し (H28. 10-12)	B 現況 (H28. 12)	(B-A)		見通し (H29. 1-3)	現況 (H27. 12)
					前回現況との対比			
総合	97	-15	20	14	29	11	-6	
農業	10	0	11	0	0	-10	0	
建設業	11	-18	28	27	45	27	-10	
製造業	11	-36	36	27	63	0	-17	
卸売・小売業	23	-10	10	-13	-3	9	-4	
観光業	10	-43	15	70	113	20	0	
飲食業	10	-11	0	0	11	10	0	
サービス業	22	-4	27	18	22	13	-9	

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所(業種別内訳は上表参照)
- 調査時期 年4回(3月、6月、9月、12月)
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容 (1)現在の景況感:良い、普通、悪いのいずれかを回答  
(2)3ヵ月後の見通し:良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。  
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。  
「DI」(Defusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。